

## 関西国際空港の運用状況について (大阪府政策企画部調べ)

### ■主な空港施設の状況

#### ○被害状況

9月4日、台風21号の高潮により、1期島の大部分（A滑走路・誘導路・駐機場・国際貨物地区）が冠水。

#### 【第1ターミナルビル】

- ・電気設備、空調設備、旅客・貨物取扱設備、防災設備等が浸水により損傷
- ・ターミナル中央部の1、2階の北側及び3階で停電
- ・旅客・貨物取扱設備は、停電、冠水により一部のシステム（チェックイン、手荷物関連等）が使用不可等

#### 【A滑走路】

- ・ほぼ全域が浸水

#### 【貨物上屋】

- ・屋根の剥離やシャッター破損等
- ・浸水により、ほぼ全棟で電気、空調等のライフラインが使用不可または一部不通
- ・上屋内の貨物にも浸水による被害あり

#### 【連絡橋】

- ・タンカーが衝突、被災部分よりガスが発生
- ・車両通行止め、鉄道運休→空港内に一時約7,800人が滞留

#### 【第1ターミナルビル】

- ・地下の排水作業完了。照明の停電は、北エリアの一部を除き復旧。
- ・9月14日から南エリアの暫定供用を開始。国際線、国内線の一部運航再開。
- ・9月21日を目途に北エリアの再開を目指す。《国土交通省発表》

#### 【A滑走路】

- ・9月14日から運用再開。《国土交通省発表》

#### 【国際貨物地区】

- ・排水作業完了。ライフラインや電気・機械設備等の復旧に向け作業中。
- ・貨物上屋は、9月14日以降、順次再開。《国土交通省発表》

#### 【護岸】

- ・倒壊護岸付近の航空保安無線施設を土嚢により保護。
- ・護岸は9月13日に仮復旧済み。

#### 【連絡橋（道路）】

- ・9月12日から損傷した橋桁の撤去作業に着手。9月14日撤去完了《国土交通省発表》
- ・損傷を受けた下り線は、再利用可能な一部分を除き、新しい橋桁を製作して架け直し。来年のゴールデンウィークまでに完全復旧を目標《国土交通省発表》

#### 【連絡橋（鉄道）】

- ・道路橋の撤去作業後、速やかに鉄道橋の修復に着手。《国土交通省プラン》
- ・9月14日の2基目の道路桁撤去後に鉄道桁の健全性等を調査。《国土交通省発表》
- ・9月18日始発より運転再開。《国土交通省発表》

※《 》のない記載は、関西エアポート社からの聞き取りによる。

## ■就航状況

9月7日 国内線を一部運航再開（第2ターミナル・B滑走路）

9月8日 国際線（旅客・貨物）を一部運航再開（第2ターミナル・B滑走路）

9月14日 第1ターミナル南エリア・A滑走路の運用再開

9月21日以降は、通常のスケジュールに戻る予定

【国際線（旅客）】 運航率概ね45%

○9月18日 出発・到着 計137便

○9月19日 出発・到着 計156便

【国際線（貨物）】 運航率概ね76%

○9月18日 出発・到着 計31便

○9月19日 出発・到着 計32便

【国内線】 運航率概ね88%

○9月18日 出発・到着 計113便

○9月19日 出発・到着 計114便

### ▶振替便の状況

【伊丹空港臨時便（国内線）】

9月8日から運航

○9月17日 出発・到着 計10便（JAL 4便、ANA 6便）

○9月18日以降 運航予定なし

【神戸空港臨時便（国内線）】

○9月6日に運航 到着3便のみ（ANA）

○9月17日 出発・到着 計2便（ANA 2便）

○9月18日以降 運航予定なし

## ■空港アクセスの状況

【無料シャトルバス】

・9月8日から、りんくうタウン駅～関空で運行

・9月17日、最終便をもって、りんくうタウン駅～関空の運行終了

【リムジンバス】

・9月19日から、全路線で通常運行を再開

【JR・南海】

・9月8日から、りんくうタウン駅まで運行再開（「はるか」は日根野まで）

・9月18日始発から通常ダイヤで運行再開。《国土交通省発表》

【自動車】

・9月7日から、上り線（関空→泉佐野）を用いた対面通行開始

連絡橋通行可能な車輛は、緊急を要するもの、営業用乗合・貸切バス等に限定

・9月21日から、上り線対面通行箇所について、関空方面のみ2車線（りんくうタウン方面は1車線）とする運用を開始。《国土交通省発表》

【ベイシャトル】

・9月7日から、神戸空港～関空で運航再開

・9月14日～9月24日まで、定期便の混雑状況により臨時便を運航（最大12往復）